

## 学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

### 重点事業の概要〔事業名：小中一貫教育及び教科「日本語」の推進事業〕

〔目標値：教科「日本語」を核とした小中一貫教育を推進している学校数 12/12校 100%〕

○この事業は、リープロ〔未来を創る人を育てるプロジェクト〕に位置付けられた小中一貫教育を推進するために実施する事業です。特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるため、平成23年3月策定した「鳥栖市小中一貫教育基本計画」に基づき、小中学校が目標を共有し、小中の教職員が一体となって学習指導や生徒指導等に組織的、系統的に取り組み、各中学校区の取組に加えて、今年度から教科「日本語」を鳥栖市立の全小中学校で実施するものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 鳥栖中学校区3校への指導・助言及び支援を行った。 2 夏季休業中に小中一貫教育コーディネーター研修会及び全職員を対象にした教科「日本語」講演会の実施を行った。 3 鳥栖市立全小中学校の小中学生に教科「日本語」の教科書を配布し、全12小中学校で授業を始めた。
	自己評価	1 教科「日本語」担当の指導主事が各学校へ指導・助言を的確に行うことができた。 2 予定どおりに市内の全小中学校で教科「日本語」の授業を開始することができた。 3 夏季休業中に市内全教職員を対象とした教科「日本語」に関する研修会を実施し、教職員の理解を深めることができた。
	下半期への対応	1 11月20日の鳥栖中学校区研究発表会へ向けて、指導・助言を継続して行う。 2 各学校の教科「日本語」の授業を指導主事が参観し、指導助言を行う。 3 教科「日本語」の意識調査を実施し、実施1年目の状況等について分析を行う。
下半期	取組実績	1 11月20日に鳥栖中学校区において、教科「日本語」を核とした小中一貫教育の研究発表会を実施し、公開授業や講演会を実施した。 2 教科「日本語」を各学校で推進する教員を集め、コーディネーター研修会を実施し、各学校での実践の内容や様子について情報交換等を行った。
	自己評価	1 指導主事を各学校へ派遣したり、教科「日本語」の手引きを作成したりして、市内教職員の教科「日本語」の指導力向上に努めた。 2 教科「日本語」導入1年目の意識調査を実施予定。(平成28年3月)
	目標値の達成状況	1 鳥栖中学校区と基里中学校区で教科「日本語」を核とした小中一貫教育を推進できた。 2 市内全校で教科「日本語」の授業への取組を始めることができた。
	次年度への対応	1 各学校で教科「日本語」コーディネーターを中心とした校内研修の充実を行う。 2 教科書編集委員会を開催し、教科「日本語」教科書改訂作業を行う。 3 教科「日本語」研究授業を他校にも公開し、教師同士でスキルアップを目指す。

### 教育長の指示

#### 上半期

- ・今年度から研究委嘱を行った基里中校区を始め今年度スタートの教科「日本語」の取り組みがスムーズに小中一貫教育の取り組みの中で実践できるように指導助言を行うこと。
- ・鳥栖中校区で実施される教科「日本語」の研究発表会が、他の学校への支援や参考になるように、内容の充実を図ること。

#### 下半期

- ・来年度から教科日本語担当指導主事が無くなることを踏まえて、手引書の準備や実践資料の充実、実践研修会の計画、教科書改訂等に向けて、具体的な手立てをとること。
- ・今年度から研究委嘱を行った基里中校区、来年度の田代中学校校区への指導助言を行うこと。

学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

重点事業の概要 [事業名：ICT利活用教育推進事業]

[目標値：テレビ一体型電子黒板を授業中に活用できる教師の割合 100%]

○この事業は、リープロ[未来を創る人を育てるプロジェクト]に位置付けられた特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるために、小中学校へのICT機器(テレビ一体型電子黒板)を導入し、デジタル教科書やインターネットを利用した授業を可能とすることで、より分かりやすい授業を行い、学力向上に努めるものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 情報推進リーダー研修会の実施及び小学校電子黒板の機種選定を行った。 2 テレビ一体型電子黒板を小学校の全普通教室へ整備した。
	自己評価	1 小学校の全普通教室に電子黒板を配備するため、管理職及び情報教育担当者を対象にした導入検討会を実施した。 2 2学期からの授業で使用できるよう夏季休業中に小学校全普通教室への電子黒板整備を予定どおりに終え、夏季休業中に電子黒板の活用に関する研修を各学校で実施した。
	下半期への対応	1 各小中学校に整備した電子黒板の活用状況について調査を行い、積極的な活用を促す。 2 各小中学校に整備したデジタル教科書の活用状況について調査を行い、積極的な活用を促す。
下半期	取組実績	1 各小中学校に整備した電子黒板及びデジタル教科書の活用状況についての調査を実施した。 2 調査結果を校長会で結果を示し、各学校での積極的な活用を促した。
	自己評価	1 市内全小中学校へのICT機器(テレビ一体型電子黒板)の導入を終えた。 2 デジタル教科書やインターネットを利用することで、より分かりやすい授業を行うなどして、児童生徒の興味関心を高め、学力向上に努めた。
	目標値の達成状況	1 授業中にテレビ一体型電子黒板を授業中に「よく利用する」、「利用する」教師の割合を高め、各学校での活用を進めることができた。(小学校74%、中学校75%)
	次年度への対応	1 来年度は、さらにデジタル教科書を有効に活用するよう校内でのICT利活用教育推進体制を整えさせる。 2 来年度も引き続き、活用状況についての調査を実施する。

教育長の指示

上半期

- ・昨年度全中学校に整備した電子黒板の活用状況等を調査し、学力向上や分かる授業を構築する上での大きな手立てとなるように指導助言を行うこと。
- ・今年度整備した全小学校の電子黒板について、積極的な活用がなされるように、さまざまな研修会等を通して啓発を図ること。

下半期

- ・小中学校に整備した電子黒板の活用状況や問題点を精査し、全ての職員が身近に活用できるように、効果的な活用法やデジタル教科書の有効活用について指導助言を行うこと。

## 学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

## 重点事業の概要 [事業名：中学校給食の検討事業]

〔目標値：選択制弁当給食を継続した場合の注文率 60%以上 (H26 年度の平均注文率約 42%) 〕

○この事業は、リープロ [未来を創る人を育てるプロジェクト] に位置付けられた取組み「安全・安心な教育環境づくり」を達成するために食育を推進する事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 今年2月に実施した中学校給食に関するアンケートについて、集計を行い、結果を概要としてまとめた。 2 校長会で意見聴取をしたり、全中学校区でPTAとの協議を行ったり、定例教育委員会で協議を行ったりした。
	自己評価	1 予定どおり中学校給食に関するアンケート結果をまとめ、児童生徒や保護者の中学校給食に対する思いを知ることができた。 2 校長会で意見聴取を行ったり、中学校区ごとにPTAとの教育懇談会でアンケート結果をもとに、意見聴取を行ったりしたことで、現状と今後の課題等を把握することができた。
	下半期への対応	1 定例教育委員会で今後の中学校給食の在り方についての協議を継続して行う。 2 鳥栖市として中学校給食の今後の在り方をどうするか、校長会やPTA連合会等との協議を参考に定例教育委員会で協議して、中長期的な計画を立てる。
下半期	取組実績	1 実施した中学校給食のアンケート結果考察を行い、市のHPに掲載した。 2 定例教育委員会で協議事項で取り扱った他、庁内協議等も行い、中学校給食の課題について整理をした。
	自己評価	1 アンケートの考察やPTAとの協議内容をもとに、今後3年間の計画を立てることができた。 2 中学校選択制弁当給食について、課題を学校と共通認識し、改善することができた。
	目標値の達成状況	1 選択制弁当給食の注文率(1000食目標 10月93%,11月97%,12月100%,1月95%) 2 選択制弁当給食の注文率(10月42%,11月43%,12月44%,1月42%)
	次年度への対応	1 選択制弁当給食のよさをPRし、月の平均食数を1100食、注文率50%を目指す。 2 献立表や掲示物の工夫・改善を行う。 3 要保護、準要保護家庭に援助の制度を周知し、注文率を上げる。

## 教育長の指示

## 上半期

- ・アンケート調査から出てきた捕食の問題など選択制弁当給食の課題について、解決できることは、早急に対処し、注文率を上げること。
- ・中学校給食のあり方について、定例教育委員会等のいろいろな場で協議を行い、完全給食の意義や課題等についてまとめること。

## 下半期

- ・アンケートで出てきた選択制弁当給食の課題については、解決を図ることができている。今後は、注文率の向上、特に要保護、準要保護家庭に援助の制度を周知し、注文率を上げること。
- ・定例教育委員会等で、さらに協議を行い、来年度以降の中学校給食の対応について方向性をまとめること。

## 学校教育課長の仕事宣言！ 進行管理表

学校教育課長 柴田昌範

### 重点事業の概要 [事業名：学校評議員配置事業]

[目標値：学校評議員会を5回以上開催した学校 (現状値9校) 12校]

○(事業の概要) この事業は、リープロ [未来を創る人を育てるプロジェクト] に位置付けられた特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりを進めるため各小中学校に学校評議員会を設置し、評議員の方々の意見や要望等を生かして、学校運営の改善を行うものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	1 各学校で1学期の早い段階で学校評議員会を実施し、学校教育目標の説明や委嘱状の交付等を行った。 2 定例教育委員会で昨年度の各学校から出された報告書をもとに実績報告を行った。
	自己評価	1 各学校で年間計画を立て、予定どおりに学校評議員会を実施した。 2 入学式や体育大会の学校行事についても各学校から学校評議員に対し、積極的に参加を促すことができた。
	下半期への対応	1 計画的に学校評議員会を実施する。 2 学校評価に学校評議員を活用し、結果を次年度以降の学校運営に役立てる。
下半期	取組実績	1 各学校で計画的に学校評議員会を実施した。 2 年度末の学校評価を学校評議員にも行い、結果を次年度以降の学校運営に役立てるように校長会で指示をした。
	自己評価	1 計画的に学校評議員会を実施した。 2 学校評価を学校評議員にも行い、その結果を次年度以降の学校運営に役立てる。
	目標値の達成状況	1 学校評議員会を5回以上開催した学校数(12校) ※学校行事への参観等を含む
	次年度への対応	1 計画的に学校評議員会を実施する。 2 地域とともにある学校づくりを進めるため、学校評議員を積極的に活用する。 3 コミュニティスクール導入についての検討を始める。

### 教育長の指示

#### 上半期

- ・昨年度の学校評議員の取り組み状況・成果等について調査を行い、開かれた学校づくりの推進や、地域と連携した特色ある教育活動を展開することを目的に運用できるように指導助言を行うこと。

#### 下半期

- ・今年度の学校評議員の取り組み状況・成果を精査して、生かされていない各学校へ具体的な指導助言を行うこと。
- ・コミュニティスクール導入についての検討を始め、教育委員会等での協議を行うこと。